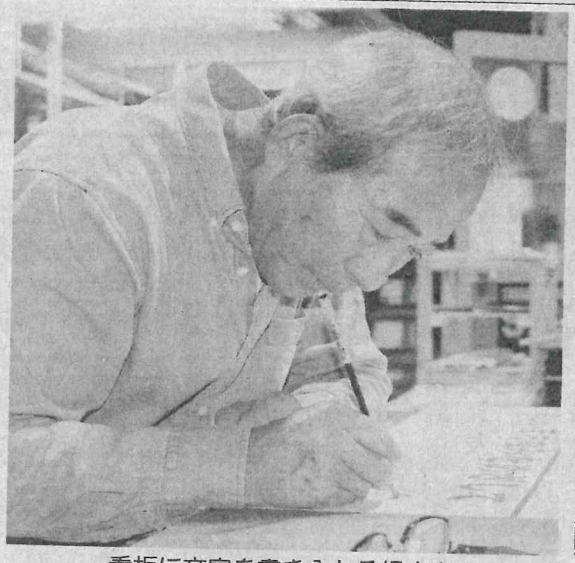
（第3種郵便物認可）　2018年（平成30年）11月13日（火曜日）　讀賣

現代の名工 県内5人

卓越した技能を持つ2018年度の「現代の名工」が厚生労働省から発表された。県内からは、静岡市清水区の広告美術工、堤丈夫さん（71）ら5人が選ばれ、12日に東京都内で表彰式が行われた。堤さんに喜びの声を聞いた。

広告美術工 堤 丈夫さん 71（静岡市清水区）



看板に文字を書き入れる堤さん

看板製作「生涯現役で」

看板に美しく文字やイラストを描く「広告美術工」として50年以上のキャリアが認められた。「地道に一つ一つの仕事をやってきただけ」と謙遜する。

18歳の頃、映画看板店で働く兄の姿を追いかけ、業界入り。暇を見つけてはノートに方眼罫（けい）を描き入れて文字を練習。映画スターなどの人物画を下描きしては色づけする日々を過ごした。時には都内にまで足を運び、デパートなどに掲げられた看板を見て回り、技術を吸収した。

約10年の修業を経て、独立。1文字が高さ6メートルもある企業名が入った大看板のほか、観光名所の絵が豊富に入った地図や選挙ポスターなど様々な依頼に応えてきた。丁寧な仕事ぶりから、ある工場の開設の際には、入り口や壁面など、一度に10か所以上依頼を受けたこともある。

仕事の傍ら、1級技能士の資格を取得するとともに、毎年のように競技大会に出場し、腕を磨いた。県のコンクールでは10回以上入選し、約15年前には全国大会にも出場している。

6月に息子の健太郎さん（42）に会社を引き継いだが、職人として今も看板製作に携わる。「若い世代の成長を見守りながら、生涯現役で頑張りたい」と意気軒高だ。

県内から選ばれた名工と功績

※名前の後の数字は年齢

柴田 芳伸さん 65 金属熱処理工 藤田鉄工所（掛川市）	焼きならし工程の改善で、大きな省エネ効果を生み出す。国内外の後進の育成にも貢献
鳥居 正孝さん 54 金型仕上工 デンソー湖西製作所（湖西市）	高精度、低コストを常に意識し、合理的な金型構造の考案で生産性を向上。多くの技能士を育成
戸塚 順一さん 67 建築とび工 戸塚組（御前崎市）	曳家工事の取り扱いが300件超。培った技術を使い、掛川城天守閣の修復などで効率化を実現
松浦 源さん 75 建築板金工 松浦工業（静岡市）	銅板屋根工事で卓越した技能を持ち、効率的な大型屋根施工法を考案して業界に普及させた
堤 丈夫さん 71 広告美術工 タックサイン（静岡市）	小さな筆描きから壁面の立体施工まで幅広い技能を有する。技能競技大会では連続入選も

名工 お気に入りの逸品

堤さんが作業場に飾るお気に入りの作品＝写真＝。数年前、仕事の合間に3日間かけて、大好きな銀幕スターをキャンバス（縦90センチ、横1メートル20）に描いた。「わが青春の昭和　映画に恋して。」という文字も添えた。

作品は、現在審査員を務める県のコンクールに後進指導のための参考作品として提出したものだ。

白やグレー、セピアなどの絵の具を何層にも塗り重ね、色あせたモノクロ写真を表現。髪の毛や眉といった細部は専用の筆を使うなど、数種類の絵筆を使い分け、繊細な表情を描き出している。

決勝 開誠館へ

全国高校サッカー県大会

第97回全国高校サッカー選手権県大会（県サッカー協会、静岡第一テレビなど主催）は11日、草薙陸上競技場（静岡市駿河区）で準決勝2試合が行われた。浜松開誠館が藤枝明誠に快勝し、[illegible]に進出した。[illegible]は、[illegible]平[illegible]る予[illegible]勝を[illegible]の優[illegible]準

静浜▽準